

日本書紀 189号 厚利

~~46~~

43

詩による詩論二篇

上下揃角の題目

福田陸太郎訳

以下上揃

そのた書かぬでない春に

ロバート・ウオレス

338

4行

今朝私は見た

戶外でークラスの女の子たちといっくよにい

たとき、

詩とは何ともろいものかを

サ化々で燃え上る世界は。

そこでは頭上に

大きなニレの木を

緑色して背の高い

が腕に花を握り抱えて立っていた。

2行

(一節省略)

5行